

まちセンだより

= 富丘西宮の沢まちづくりセンター =

手稲区の7つのまちづくりセンターから各地区の話題をお届けします。

富丘西公園 スズランの保全活動

富丘西宮の沢地区は、豊かな自然環境と交通の利便性の良さを兼ね備えた住宅地です。今回は、この地区の公園で行われている、地域の人たちによる日本スズランの保全活動をご紹介します。



▲日本スズラン

富丘西公園は、日本スズランの市内最大規模の群生地です。日本スズランは、葉が細長く、春には葉の裏に隠れるようにそっと白い花をのぞかせますが、秋には赤い実がたわわに実り、また格別な趣があります。

スズランは、札幌市のシンボルフラワーにもなっています。富丘丸山町内会では、毎年かれんな花を咲かせるこのスズランを大切に育て、多くの人たちに見てもらおうと、手稲区土木センターと一緒に、スズランの保全活動に取り組んでいます。



▲赤い実をつけた様子

土木センターとの共催で毎年3、4回行っている「自然観察会」では、大人も子どもも一緒に自然と親しみ、スズラン以外にも四季折々に美しい花を咲かせるたくさんのお生植物を目にして、学習意欲を高めています。



▲大勢参加した春の自然観察会

また、この自然観察会を通じて雑草などを取り除いたり、保全区域の掃除なども行っています。一年の最後の自然観察会では、参加者全員で大掃除を行い、汗を流した後に焼き芋を味わいながら交流の花を咲かせました。



▲秋には枯れ草を集めて大掃除

今、スズランの保全活動の輪はどんどん広がっています。こうした地域の取り組みについて、富丘丸山町内会の北守承五郎会長は、「一時衰退していた日本スズランが、地域の人たちの手によってここまで回復し、今では多くの市民の皆さんに見てもらえるようになったのは、スズランの生育をご指導いただいた専門家の方々や周りでの応援してくれた皆さんのおかげです。また、この保全活動を通して、家の中で閉じこもりがちな高齢者の方々が活動の場に参加

できたことも大きな成果の一つでした」と語ってくれました。

スズランは今、雪の中でひっそりと春の訪れを待っています。あとも3カ月もすれば美しい姿を現します。皆さんも、ぜひスズランの保全活動を応援してください。



▲雪に覆われた冬の富丘西公園



富丘西公園
手稲区富丘4・5条5丁目